

## 第 6 期 部会活動報告（ねりまの食育応援店部会）（案）

### 1 事業の現状

- ・ねりまの食育応援店は徐々に登録店は増えている。
- ・ポスター、チラシについても応援店登録店での掲示・配布を行ってもらっている。
- ・今後の周知活動は、6月の食育月間に合わせて公設掲示板、保育園、区立小・中学校でポスター掲示を行い、本庁舎2階西側通路での周知も行っていく。

### 2 部会検討意見

現状より、次年度以降の周知や応援店の活動について検討する。

#### ① 情報誌の作成

「とうきょうをたべよう」（東京都作成 東京特産食材を使用しているお店の情報誌）の情報誌のような情報誌を作成していく。

登録店の写真、地図、代表的なメニューの記載はあった方が良い。また、4つのカテゴリーに登録している店舗は記載ページを増やし、店主の思いなどを記載しても良いのでは。

また情報誌を作成した時には、応援店周知のキャンペーンなど情報誌を広める試みができる方が良いのでは。

#### ② 練馬区健康管理アプリとの連携

アプリのマップ機能に登録店の表示はされるが、より多くの人があるマップを利用してもらうように、店舗側の協力を得る形を考えてみてはどうか。4月からの掲載時には、マップに記載した事をお知らせで知らせていく必要がある。

#### ③ 応援店利用者のメリットの検討

ねりまの食育応援店を応援する会（仮称）などを作り、会員証を作っていくのはどうか。情報誌や各応援店に会員証を置き、各応援店をめぐるながらスタンプを集める楽しみを持たせると良いのでは。将来的には応援店店主と応援店の利用者でのディスカッションなどができる、相互交流が図れて良いのでは。

#### ④ 次年度食育推進講演会の検討

応援店の周知のため、次年度食育推進講演会で、ある程度の著名人（地産地消等を推進しているレストランのシェフ等）の基調講演に加え、応援店店主を招いたパネルディスカッションなどはどうか。

#### ⑤ その他

応援店店舗が登録しただけにならないように、事務局は応援店に顔を出していった方が良いのでは。情報誌作成の時は写真等の依頼を手紙ではなく直接店舗に伺っては。

### 3 部会検討をうけて

① 情報誌の作成

平成 30 年度 10 月を目安に、情報誌の作成を行っていく。東京都のものを参考に、ねりまの食育  
応援店の事業紹介、店舗紹介、食育情報を加えて作成していく。

応援店へも写真提供や店舗紹介文等を依頼していく。

② 練馬区健康管理アプリとの連携

平成 30 年 4 月にはマップに掲載し、お知らせで掲載を始めたことを知らせる。応援店からの協  
力が得られるか、キャンペーンを組めるかは関係部署と検討していく。

4 今後の検討

- ・ 応援店を利用した方にもメリットを感じさせる取り組みの検討
- ・ 練馬区健康管理アプリとの連携